京城新報

京城新報

排日思想と日米の關係（四）

教育會に於る本社長峯岸の講談

諸君、排日の原因に就て今一二の例を擧げてそれより日米今後の關係に就て述べやうと思ふ、排日の原因として茲に亦一の數ふべきものがある、夫れは米國に於ける所謂日本の成効者である、桑港畑や馬鈴薯畑を作つて小金を貯蓄する此等の者が大金滿家になりたる如く思て意氣揚々として一寸歸朝するとサア大達だ新聞記者の訪問に對して法螺を吹く、それが眞面目に大成功者として新聞に掲げられ甚だしきは肖像や農場の寫眞迄が掲げられるのである、此成功者なるものは米國に於ては今云へるが如く左程のものでない、けれども米國人は此新聞記事を見て眞面目に受けて誤察するのである、日本人が米國に來れば僅々五年や十年にて斯くも大成功をなすと驚歎するのである、而して此等の成功者と雖も米國に同化せざる事に就ては意志がなか〳〵牢固である、詰り自由の郷土には住居したいが同化することは出來ない、矢張り日本帝國の臣民として標榜して居たいと云ふのである、故に米人は益々恐怖の念を懷くやうになるのである、之が多少成功しても各國人の如く同化すれば決して嫌かぬのである、自分はオレゴン、ワシントン等に於て日本人が鐵道工夫となりて澤山居る所の實況を見た事がある、此等の日本人はバラックに住いを爲して居る、而して此所にも日本人の特色を發揮して居る、夫れは其バラックに日本の國旗を揭揚して居ることである、彼等が之を掲げて居るのは單純なる考へであろう、只我は日本人であるぞと云ふに過ぎないであらうけれども此地方を通過せる米流日本人は之を見て屢々感心したるが如く愛國の語を發するのである、併し之は甚だ皮相の觀である、米國人の目から見れば個人と國家との區別がない樣に思はれる、日本を代表する人は大使公使あり渠等は國民であつて代表者でない、夫れが平常其住家に國旗を揭げるとは何の事であると云ふ夫れで日本人は獨立祭にもワシントン祭にも[illegible]天長節のみ祝ふとは怪しからぬと云ふ……皮相の觀を以てすれば斯る事は何でもないように思はれるが之が甚だ排日思想を昂める原因になるのである、在米日本人は斯くして到る處に米人の排日思想を養ひつゝあるのである、其日本人がカリフォルニヤには多數に集在する故に茲が一番排日熱が熾なる所以である、余が一昨年東京に行きしときボストンとヒラデルヒヤの人等と帝國ホテルに於て會し排日問題に就て話をしたことがある、然るに其人等は何も知らぬと云ふから自分は其人等に向てカリフォルニヤを通過して來て知らぬと云ふ事はないと云へば、彼等は笑て曰くカリフォルニヤは汽車で横斷したるのみでカリフォルニヤ人には接せず只空氣を吸ひたるのみであると、元來カリフォルニヤは日本人斗りが下等でない、米國人も矢張り下等なる亂暴者が多い、夫れ故彼等はカリフォルニヤ人と同視されぬ樣に坐談の間にも大に注意して區別を立てゝ話をするのである、當時余は桑港で兇徒の手に斃れたる韓國顧問たりしスチーブンス氏と會ふて諧謔を交ゆるときには何時もス氏をカリフォルニヤ人であると云つた、カリフォルニヤ人と云ふことは米國人の中でも亂暴人と云ふ符諜に使はれた位である、併し此亂暴人等が排日思想を養生し亦排日運動を起すに就ては前述べたる如く移住邦人の缺點を擧げて述ぶるの機會として居るのである（未完）

文苑

●與統監旗　さきは

統監旗足下世に若し莊嚴にして而も名譽あるものを求むれば足下の如きは確に其の一に位すべし南山山巓雲縱かに搖く所飄々として飄る足下の雄姿は人をして自ら莊嚴の念を禁ぜざらしむ然れども足下三思せよ足下が如今南山々巓に飄る間は到底永遠に其の莊嚴と名譽とを保つ能はざるを寄語す如かず去つて長白山巓に飄らんには……と

●死んでも持たぬ　蝶樵生

「死んでも日章旗は持たぬ」と一人の韓人學徒は叫んだ併し「學相の訓令如何ともする能はず」と教師は傍らより嘈めた「他の生徒はイザ知らず僕は何うあつても厭です」頑として教師の命令を用ひなかつた一人の生徒は終に日章旗を持たずに玉車を奉迎した翌て生徒は再び叫んだ「アレが統監人[illegible]には日章旗を持つてやる……」教師は愕いた四邊の人々は眼を欹てた

●明日は天氣か　しつぢ

夢は逆夢とは能くいふたものだアノ達者な弟がまさか死なうとは思はなかつた人生朝露の如し否な明朝は吾が身の上かも知れぬ併し自分は宿年の目的を達せざる中は何うしても死ねない縱し死んでも浮ばれない[illegible]といつて現今の境遇は何うか何んの手段もない一個の朝市商人ではないか前途遼遠……ソレを思ふと勇氣が挫くなるイッソ弟の後を追ふか否な〳〵うらでない矢張り希望の道に進まう……明日は天氣か何うやら曇らしい……

新刊紹介

▲朝鮮　本年に入つてより益々活躍の跡見ゆ寫眞版三葉韓皇巡幸の光景は面のあたり目前に視るが如く長谷川大久保兩將軍の雄姿颯爽たる小照宛かも謦咳に接するが如し内容は依例賑やかに各名士の高論卓說何れも有益[illegible]（二月號一部二十五錢京城本町日韓書房發行）

▲貿易　大橋新太郎氏の「歐米漫遊談」堀越善重郎氏の「米國國富の增進」正岡氏の「南米通商と企業」等は本號の讀物なり（一卷一號一部十一錢東京々橋區宗十郎町日本貿易協會）

▲銃獵界　本號の口繪に以釜山龜山附近の雉獵を掲げ記事としては「遊獵と銃獵」「銃獵漫言」「犬の實驗飼養」「猿狩の記」等を載せあり（五卷一號一部十錢横濱金丸銃砲店）



（百十八）　宮合柳葉

[illegible]ると共に、

「大層突然ぢやないか、如何為たんだ、矢張商用で上京したのか。」

云ひつゝ座に就いた、

「いゝえ、急に旦那樣にお話し申さなきやならない事が出來まして、それゆへ俄然上京致しましてございます、先づ御健勝に在らせられましてお目出たう存じます、昨年上京の節は一方ならないお世話を蒙りまして、お禮の申上やうもございません。」

と、恭しく挨拶すれば、

「父親が到頭亡くなつたさうでね、嘸殘念に思ふたであらう、又いつやらは立派な土産物を送つて下れて、折角の何だから遠慮せずに貰つて置いたが、那斯心配為なきや宜いのに。」

「お禮に預るやうな物品ではございません粗末な品ばかりでございまして……」

「して、態々上京してまで私に話したいと云ふは、如何云ふ事なんだ。」

「些と他聞を憚る事でございますが、此室で話し申しても宜しうございませうか。」

「ナニ他聞を憚る事だ、小い聲で話せば此室で話しても大丈夫だ。」

「それでは、お話し申上げまするが、旦那樣は當時れ屋敷の方へお勤めなさらないと云ふは眞個の事でございますかそれを、承りたうございます。」

道泰は不思議相に膝を進めて、

「それは眞個の事だが、しかしれ前さんはそれを誰から聞いた。」

「いや、誰からも聞きは致しませんが、妙な事から妙な書面が手に入りまして、それで存じましてございます。」

「ハテナ……。」

「近頃お屋敷へ山川と申すものと、れ君と云ふ女が入り込んで居る事は御存じで居らつしやるでございませうね。」

「それは知つて居るが、それが如何か致したか。」

「では眞個旦那樣は何にも御存じないと見えまするね、御室樣のれ屋敷は大變な事になつて居りまする、旦那樣の家令職がれ暇が出ましたのも、山川なりれ君共が大山とか申す共と相談の上で旦那樣を邪魔にしてれ暇の出るやうに計らつたんださうでございます。」

「ねゝッ、あの山川共が。」

「まだ〳〵其所おやございません、れ宅のお嬢樣も、今は全くれ君の計ひで大山と豐ならぬ關係が出來て居らつしやる樣子でございます。」

「ねゝッあの娘が。」

「そして又御後室樣は發狂もなさらないのに發狂だと申して座敷牢へ押込めて、餘程御衰弱遊ばした樣子でございます。」

あまりの話に道泰は、

「これ〳〵、些と待つて下れ、そ、それは眞個の事か。」

「何んの僞言を申しませう、眞個の事でございます。」

「それは何がために那樣事を爲るのか、それが聞かして貰ひたい。」

「私の考へまするには、御室家を横領致さうと云ふ彼等の所存であらうと存じます。」

「れ家横領か。」

と、目を圓くして驚いた。



京城新報

夢の如き伊藤公

聞にして夢の如き伊藤公と云ふ、誹譏か奇嬌に失する嫌なきに非ざるも事實は全く夢の如き觀あるを如何せん、試に最近に於ける公の動作を見よ、兎角任地に落ち付かずして能く任地を空ふせる公は健氣にも昨年十一月半ば向寒の時季に歸任せられたり、而して珍らしくも任地に越年せられたり、酒寒を冒かして越年せられたる擧を見るに於て余輩は公が大に爲す所あるべしと推測したりき、何ぞ圖らむ、公は亦もや近々任地を空ふして歸東せらるべしと云ふ、公が歸任せられてより僅々七十余日、其間に於て何事をなせしや、七十余日間の中には新年を迎ふるに幾日を費し、亦續て病氣の爲に亦幾日を費し、殘る正味の時日に於て只韓皇と共に南北両韓に巡視したるのみ、眞の政務なるものには何等の事績をも擧げたる所あらず、斯くして此儘任地を去らんとするに至りては、眞に夢の如しと云はずして將た何と評す可き乎、

之に依りて觀察すれば公は韓皇と共に南北両韓に巡行する爲に歸任したるものゝ如し詳説したるものが只汽車に乘りて行商をなし義務的の事をなして濟むものとすれば統監の職掌は恰も一場の演劇のみ、斯る夢の如き事のみを以て任地を去るは其職に恥ぢざなりと云ふ可らず、公をして斯る夢の如き動作をなさしめ置くは決して時勢の許す所にあらざるへし、余輩は公が產業經濟等に精はしからざるを知る、公は此點に於ては全く知識を欠く、故に之等の事に關して施設する所なきは敢て怪まざるも、政治上に於ては多少見るべきものあるべしと思ひたりき、殊に暴徒の鎮定に就ては有効なる手段を取らるべしと思ひたりき、然るに公は暴徒が未だ鎮定せざるにも拘らず、鎮定せるが如くに裝ふて軍隊の如きも平時の行動に復さしめたりと云ふ、如何に鎮定せりと云ふも事實は之が反證を擧げ來るを如何せん地方に於ける暴徒の實況は今尚は猖獗を極めつゝあり、南北兩韓に韓皇と共に巡行したるも一は暴徒鎮撫の一策なりしならんも時機時に遲れたり曾て余輩が建言したるときとは既に勢を異にするを以て効力極て薄からん斯く觀察し來れば公が七十余日間に於ての働きは南北兩韓行の演劇的動作の外何等の功績なからん、而して今や歸東の途に就かれんとす、之れ一場の夢に非ずして何ぞや、歸東の上は帝國議會に統監政治の事蹟を報告せらるゝならん、若し夫れ余輩をして其報告なるものを忌憚なく言はしむれば、過去三年間の事は勿論最近七十余日間に於けるが如く或は夢の如きものならん、恐らくは議會に對しても夢の如き報告をなすに過ぎざらん乎、公は斯くして夢の如くに終らんとするも或は可なり、夢にあらずして有任の生活をなしつゝある在任十五万の同胞及公に過大の望みを囑しつゝある韓國人、各希望は異る所ありと雖も、等しく秕政の爲に苦しめられつゝあり、公は夫れ之を以て如何となす乎

東京電報

▲排日案の否決

加州下院に於ける日本人土地所有禁止案は二十八に對する四十八にて否決せられたり

▲祭粢料御下賜

田中不二麿生前の功を覺し召され兩陛下より祭粢料三千圓御下賜相成りたり（以上四日發）

韓國

●統監邸訪臨

韓皇には本日午前十一時四十分統監邸に成らせられ同邸樓上に於て統監及び各親任官と午餐を共にせられ午後二時三十分還幸、尙統監は之れと同時に南西行幸の供奉に列したる各高等官を招待して午餐會を主催さるべしと云ふ

●對韓政策質問

對韓問題有志者が統監政治に嫌焉たらざるものあり依つて此際統監府に大打擊を加へ之が紛擾を促さんが爲め統監政治に關する質問書を議會に提出すべしとのことは過日の紙上に掲載せしが愈々又新會代議士鹽原催廓氏は右に關し近々質問書を提出する由

●總裁一行昨夜着城

宇佐川東拓總裁一行（宇佐川總裁、理事井上孝哉、同林市藏、秘書役長瀬八郎、調査役加賀山辰四郎）は昨夜無事南大門に着出迎人非常なりき、因に吉原副總裁は四五日の後渡韓すべしといふ

●統監司令官送迎會

伊藤統監の沍寒の候を侵し韓皇の南北巡行に際し同行せられたるの勞を謝し且來る十日を以て歸朝の途に上らるゝに付送別の意を表し亦大久保軍司令官の歡迎を兼ね明七日京城ホテルに於て午餐會を開くことに決定せるが發起人は石塚長官代理三浦理事官熊谷民長和田議長中村會頭にして贊成者は本日中會費金三圓を添へ民團役所に申込まるべしとのことなり

●韓皇德壽宮訪問

韓皇には昨日午前十一時二十分敦化門出御德壽宮に太皇帝及び嚴妃を訪問せられ行幸中の模様など御物語りあり午後四時還御せらる

●行幸下賜金名簿

西韓臨幸各地の觀察使として所管内に於ける御下賜金ありたる團体及高齢者、特志家等の名簿を作製せしめ之れを内部大臣より宮内大臣の手を經て天覽に供する筈なりと

●地方費發布交涉

度支部なる鈴木司税局長は昨日内部に岡次官を訪ひ地方費法發布に關する交涉をなせり右は遠からず閣議を經て發布せらるゝ筈

●道主事任命人選

各道に勸業、土木、教育の事務に當る日本人主事三人宛を新たに任命すべきは既報の如くなるが内部は多數の志望者中より相當の資格を有し且つ地方行政の實務に經驗ある者を審査採用する事となり略ぼ人撰を了したるを以て近々任命ある筈なり

●虐待事件の落着

過般西間島に於て清國官憲は韓國民を虐待したるにより統監府は外務省の手を經て清國政府へ照會せし結果、徐總督は之の事件に關係したる[illegible]所置を不法と認め之れを召還し其の後任として[illegible]は去る一月廿八日同地に赴任したりと安東縣領事より其の筋へ來電ありたり

●牛疫と血清注射

咸鏡北道の牛疫は益々蔓延し人民は其の傳播を怖れて畜牛を外出せしめざるため同地方は運搬上に障害を來し殊に羅南なる兵營建築場の運搬には著しく影響を及ぼしたるを以て同建築主任は右に使用する畜牛に免疫血清を注射されたき事を其の筋に申出でたるを以て地方人民も此の注射を施せば本疫に罹らざる事を悟り同注射を非常に歡迎するに至りたる然るに血清の分量に制限あるため當局者も目下非常に苦心しつゝありと云ふ

●貸付滊船の引渡

東海岸航路を經營せる元山吉田秀次郎氏に對し韓國政府にては年額一萬七千十九圓宛三箇年間補助を與へ且つ五百噸以上の滊船一艘を貸與する事となせしは既報の如く同航路は既に開始せるが此の貸し付くべき汽船は度支部より鬼技師日本に出張し大坂なる原田造船所に於て六百九十二噸の汽船を購入し隆熙號と命名し、七日釜山に回航するとの報告ありたるを以て農商工部より小川事務官會計課員と共に同地に出張し度支部より引渡しを受け直ちに同地にて吉田氏に貸付する筈なりと云ふ

●輸出入貿易國別

昨年中の韓國外國貿易額は之れを通商國別にすれば輸出に於て多數を占むるは依然として日本にして總額に對する七割七分に當り（前年は七割六分）之れに次ぐものは清國にて一割六分に當り自餘の諸國は僅かに百分の七を占むるに過ぎず而して昨年の輸出貿易中和蘭に對する六万千餘圓は仁川より米を輸出せしものに係り又北米合衆國に對する四萬五千餘圓は雲山金坑より採掘せる金鑛を輸出したるものにして此の以外に於て歐米に對する米穀其他の當國產貨物の輸出あるべきも是等は一旦日本に輸出したる後更に市場の狀況により再輸出せらるゝ者にして當國輸出の際豫め貿易表上に之を區別する能はず次に輸入に在りては通商の最多額なるものは日本にして輸入總額の約五割九分に當り英吉利之れに次で一割六分を占め支那及び北米合衆國各約一割に當り其他の諸國は合せて五分内外に過ぎずと云ふ

●池洪一逮捕後報

去る二日開縣の東一里なる地點に於て江華島を中心として暴威を逞ふしたる暴徒の首魁池洪一を逮捕せし由は既報の如くなるが今其逮捕當時の狀況を記せんに當時暴徒開城に入り込みたりとの噂ありしを以て警察に於ては嚴に警戒中二日前記の處に怪しき韓人の徘徊せるより、密偵中の日韓巡査各一名は之れを誰何せしに、其の韓人は甚しく狼狽の有樣にて懐より、突然大將と彫刻せる印判を落し之れを兩足にて隱さんとせるより有無を言はせず逮捕し開城警察署に引致し種々訊問したる結果遂に池洪一なる事と判明したるが尚ほ池は自白して曰く昨年十一月江華島に於ける日本人の高麗燒を發掘せんとする者二名を銃殺し四名を生埋にし十二月日本兵士一名を殺し尚其他各所に於て警察隊及び憲兵と衝突したること數度、又金品を掠奪せしこと數ふるに遑あらざるが其後江華郡より白川郡に逃れたるものにて同郡に今尚銃器二十四を隱匿しありといふ

●漢江と外國貿易

外國貿易貨物にして仁川龍山間輸送上漢江流域を利用するものを主として纏りたる貨物即ち穀物、牛骨、食鹽、石炭、石灰、木材、鐵器、建築材料等にして最近の調査に係る半年間の外國貿易貨物總額は二十五萬九千二百七十八圓なりと

●民籍調査の完了

京城に於ては昨年十一月より民籍調査着手中なりしが二月三日全部の調査を遂げたりと

●對韓貿易不振近因

貿易界の不振を喞つや久し就中朝鮮貿易は鐵嶺大豆の豊作と滿洲鐵道及び聯絡商船必死の勉強に依り營口の繁榮を大連に奪ふと共に大豆價格空前の暴落を告げ從つて朝鮮大豆を壓倒し來りたる結果其の影響へ相場の如き滿洲大豆と伯仲の間に彷徨ひて今や六圓乃至七圓の下價を示せり而も輸出稅及び輸入稅の頗る高率なるあれば概ね買澁りて韓國内地農民の懐合太だ豊かならざるは我が對韓輸出不況の理由として一般の認むる所なり然れども爰に極々最近の新原因として當業者間に不祥の眉を顰めしむるものの現れたり韓國票問題は即ち是れなり由來韓國貿易に於ける取引の實際は俗に音票と稱する恰も内地の約束手形樣の一種の票を以て延取引を爲す商習慣存在し簡易に流通され相互間最も便利多きものとされたるが偶々韓商と本邦商人との間に之に基く係爭起り京城法務院は判決を下して票は唯單に普通貸借上の證憑として認定すべきも内地の約束手形同樣の權利を有するものにあらずとなしたるが本邦商人の驚愕一方ならず續いて久しき間の商習慣爰に全く打破せられ本邦商人は自衞上余儀なく今后の取引は一切正式の約束手形を用ひんと欲し韓商等は新に約束手形を用ひんこと當に面倒を感ずるのみならず一種の恐怖心を惹き起せるが如く遂に萬事を控へ目となすに到りたり蓋し約束手形の使用は内地に在つてすら所々に依り之を厭ふもの甚だ少からず況や經濟生活の原始時代を脫せざる韓民の何んぞなく毛嫌ひするは見易き道理にて當正初商の如き京城一流の商店にては毎戶例年一万圓以上の仕入を見たるに反し本春は實に僅に二千圓内外を出でざりしと云ふ馬山群山不景氣も是れ實に前記票問題の祟りなりとして該貿易不振の新なる原因に數へ當業者最近の泣材料たるの觀あり

●巨濟島の捕鯨業

長崎港を起點として神ノ浦、瀨戸及び松島間を航海し居たる汽船浦門丸は今般巨濟島を根據として同近海捕鯨事業を許可されたるより近日中斯業に從事すべしと

●安東縣在留邦人

同地通商課の調査に依れば新市街男二千二百八十六人女一千六百五十四人舊市街男二百十九人女百八十九人合計四千三百五十八人戶數百五十三歐米人は五十名なりといふ

●大邱地方楮產額

大邱地方の製紙原料たる楮は諸郡より安東に至る小白山麓の諸部落には夥しく其產額も多數なり又慶州永川間西部の山間にも楮多く製紙業者は凡て地方の農家の副業なるが其產額は毎年支那輸出額三十万圓地方の需要三十万合計六十萬圓之に聞慶地方の產額を加ふれば非常の多額に達すべしといふ

●釜山婦人會大會

成錦女學校を高等女學校に附屬せしめ釜山婦人會を愛國婦人會に合併すべしとて小宮原副理事官その間に斡旋中なることは豫て耳にする所なるが其結果釜山婦人會にては遂に昨日午後一時より臨時總會を成錦女學校に開くこととなりしが成錦女學校附屬問題は固より可決すべきも兩婦人會合併問題は果して如何に決すべきかと氣遣ふ者多し

●昨今年一月氣候

去月中仁川に於て觀測所の實測したる結果と昨年及平年一月に於ける氣候とを對照すれば左の如し

項目	四十二年	四十一年	平年
平均氣温(華氏)	二六、〇	二六、一	二七、七
平均最高氣温(同)	三五、二	三三、四	三四、九
平均最低氣温(同)	三、四	二〇、一	二〇、七
高極氣温(同)	四三、三	四三、七	五五、九
同上起日	四日	十二日	三十六年十九日
低極氣温(華氏)	二、六	八、二	〇、四
同上起日	廿二日	廿二日	三十年十九日
晴天日數	三	三	六
曇天日數	八	九	三
雨天日數	四	九	七
雪天日數	七	五	五
降水量(粍)	二	[illegible]	一四

●遊廓の移轉延期

大邱市中に散在せる各料理店は來十月を以て移轉すべく嚴令を以て決せるが右に對し料理店組合より移轉延期の請願書を三日理事廳に提出せり料理店が新遊廓地へ移轉せば民團の收入を減ずべく一面には料理店中獨力にて移轉する資力なき故其移轉の準備出來迄延期を希望すと云ふにあり

●慶尙全羅守備隊

大邱駐屯步兵百七十八名は今回慶尙全羅の各樞要地の守備に當ることとなり昨日部署を定めて各任地に出發せし筈なり

●米國團体の來韓

米國シーモンド、[illegible]一行中十二名は四月頃日本より釜山に渡航し京城に來り仁川を經て大連に上陸すといふ

●俱樂部の展覽會

會洞俱樂部にては七日（日曜日）荒井次官以下部員の同好の士が秘藏せる書畫骨董美術品の展覽會をなす筈

●立花事務官轉任

立花内部事務官は今回拓殖會社調査課に轉任する事に決定せり

●天神林大尉出張

軍司令部附天神林大尉は十日間の豫定を以て大邱地方視察の爲め出張せり

●富田民長の上京

五日入城京城民團を訪問せり

●龍山本願寺説教

本日午後七時半より同寺院に於て幾開教使の説教ある由

●韓內地の賊狀（續き）

▲太田管區　未だ平穩の域に達せず茂朱及錦山地方には約四十名の賊徒徘徊せるあり其他の地方も尙數名乃至十數名の賊群徘徊の跡を絕つに至らず又高山地方の兒童教育漸次盛にして本年六月開校せる私立鳳陽學校の如きは當初學童十數名に過ぎざりしが近來に至り七十名に達せり又十一月下旬より日本語の教授を開始せり又恩津郡附近には過日京城南山本派本願寺より布教を開始せるも韓人にして信徒なりしもの極めて少なし是に反し米國宣教師の傳道に係る耶蘇教は益々蔓延するの狀あり▲忠州管區　群をなして橫行せる賊徒全くなり然れども金品强奪を目的とせる少數無賴漢の徘徊に至りては他地方と異なるなく淸安淸風附近最も多し住民は是等賊難に深く意に介せず又忠州附近に於ては賊難を口實として徵稅金を私消し發覺したる面里長あり其他各地共多少此の弊あるが如し▲大邱分隊管內　賊勢は前期間に比し著しき消長を認めず釜山近隣を除く外數名乃至三十名の賊團は尙各地共時として出沒す本期中當管內に於て憲兵の賊徒と衝突すること七回賊死十一銃十二火藥其他雜品を鹵獲せり嘗て慶尙道盈德英陽附近を橫行したる賊魁申乙石の十二月前配下たりし土人の爲めに殺害せられたる以來同地方の賊屏息し住民大に安堵の色あり而して江原道より四山脈を經て慶尙北道永川郡候頂山麓に至る間の地方は地形最も險惡にして從來賊の屢蟄伏據する處ありしが本期間著しき異狀を認めず又慶尙南道智異山居昌安義陜川地方は近來最も騷擾しある全羅南北道境界地方と隣接しあるを以て特に將校以下二十一名の討伐隊を編成し十二月八日より約十日間行動せしめたるも賊徒に對し著しき打擊を與ふる能はざりき大邱釜山慶州等の各地には日本居留地漸次增加し殊に大邱の如きは毎月平均二十戶內外の家屋新築せらるゝ盛況にして商業其他に就き益々發展を見るされば各地主要の道路十月以來上司の命により路幅一間半に改修を加へ且つ河川に橋梁を架設せしにより人馬通行上多大の便益を得るに至れり

公人私人

▲齋藤季三郎（憲兵大尉）一昨夜入京旭旅館
▲小飾三郎（憲兵大尉）同上

●近事片々

▲李完用氏伊公に隨從して東上するの説は眞乎昨年は宋秉畯氏東上す順番極て妙
▲李宋兩人を殘し置きては衝突の恐ある爲に斯くするも也と風説す果して然りや否や
▲宋氏は伊公と共に東上せんことを望みしも伊公肯ぜず完用氏を伴ふに決すと云ふ
▲依是觀是先づ當分は現狀維持が伊公の方針なるが如し借も伊公の政策は依例如例
▲然らば現狀打破は何時來るべきか曰く統監更迭の曉なるべしと或は此說眞に近し
▲問題は進で更に統監は更迭すべきや否やと云ふ事になる恐らく議會閉會後に定らん
▲桂內閣の仕向けによりて伊公も速に印綬を解くならん茲に於て始て後任定るべし
▲後任者の人物如何によりて統監政治の發展如何は定る借々暮合長くして退屈千萬
▲統監のみならず其他も一度は大更迭をなす場合も來るべし或は之も必要なるべし
▲帝國議會に於ける小村外相の外交演說更に振はず議員連中に不服なるは尤の次第
▲一塲の報告に止る是位の事は三つ子でも知て居る外相の演說として大に物足らぬ
▲英國と第二回盟協約をして訂盟各國との交際は親交を加ふ抔は言はざるも可なり
▲鹽原催郎の質問演說は議場に冷笑せられたるも其言ふ處は異に肝要の事に屬す也
▲之を大石正巳乃至は尾崎行雄等に言はしむれば僅に傾聽せしむるの價値はあり
▲人種問題宗教問題の二つを解決せざれば外交の事は談ずべからずとは言得て妙也
▲日本の外交家は此等の點に重きを置かず爲に往々外交上不利の地に陷入る事あり
▲花井卓藏の國務大臣權限問題は極て痛快なり此問題は全く解決し置くの必要なり
▲阿里山問題は大分八釜敷なりたり後に藤田組ありとの事は大に世を驅がす基因也
▲桂侯は往々斯る問題に引懸り易し之を愼まざれば終には其聲望を破却するに至る

▲排日氣勢抑制　紐育商業 …… 合衆國は何れの州を問はず條約に反し …… 帝國の名譽を毀損するの行爲に反對すべし

東京電報

▲製麵會社處分　政府は ……

▲政友會の態度　本月八日 …… 政友會は代議士會を開き阿里山問題其他に關する態度を決定すべし

…… 昨年末は一日七八十噸層平せるも昨今は一日三四十噸位なりと云ふ

▲排日氣勢抑制 紐育商業會議所は何れの州を問はず條約に反して米國の名譽を毀損するの行爲に反對すと決議しカリホルニヤレパーター[illegible]の人民に

▲製糖會社處分 東京電報 政府は猶豫中なる大日本製糖會社の製糖未納税金

▲政友會の態度 政友會は代議士會を開き阿里山問題其の他に關する態度を決定すべし

(以上五日發)



●仁川の博徒殺し

▲初めは仲好く飲酒す▲酩酊して口論となり遂に決鬪を約す▲短刀で抉くり殺す……

一昨日午後十時四十分仁川寺町本願寺裏避病院の側りにて人殺し事件ありたり加害者は目下仁川署にて取調中なれば詳細は次號に讓り今左に當時の概況を報せん

▲兩人の素性 本事件の加害者と云ふは神戸市八妻町四丁目四十一番地平民中田勘六(二十七)と云ふ博徒にして四年前仁川に居住したりしも一身上の都合にて歸朝したるに去月末又もや仁川に來り宮町二丁目美濃德松方の食客となり居たり被害者は之れ又博徒にして廣島縣御調郡能見島深井村の生れ當時仁川花町二丁目居住谷口俊太郎(三十)と云へるものなり

▲兇行の原因 一昨日未だ宵の内被害者谷口は前記美濃德松方に加害者中田を訪ひ互に酒酌み交はし午後九時頃迄痛飮したる果て些細の事より彼等仲間には珍しからぬ口論を初めたるが双方共酩酊し居ることゝて益々激論となり遂に決鬪を爲さんとて谷口は出刄包丁を中田は短刀を持ち寺町二丁目仁川病院分院の方向に出掛けたり

▲格鬪の模樣 斯くて兩人は本願寺裏の避病院附近に至り一人は出刄一人は短刀を閃めかして格鬪を始めたるが中田は……

力又之に適ひ隨分强氣な男とて互に組みつ組まれつ戰ひしも中田の力遙かに勝り居れば難なく谷口を膝下に組敷水も滴たる短刀を無慘や谷口の咽喉目蒐けてグザと計りに突立てたり

▲被害者即死 傷口は唯一突なれども中田が滿身の力を以て柄も通れとばかり突立てたる事とて大動脉を切斷し鮮血混々として迸り谷口は約二十呼吸り居たるも遂に絶命したるぞ憐れなり

▲加害者逮捕 加害者中田勘六は谷口の絶命するを見るや今更ながら大に驚き直ちに姿を隱し高飛の準備に着手したり然るに之れより先き急報に接したる仁川警察署の阪下、今井、石川の三刑事は現場に急行したるも中田は既に逃走したる跡なりしかば八方に手を分け徹夜搜索に努めたる結果昨朝未明遂に之れを逮捕し目下野村警部の主任にて嚴しく取調中なれば詳細は追て報道せん

●檢番問題の成行

▲數派に分離するならん 當地花柳界にて檢番制度に改むるの議ある事は既に再三報道し置きたる處なるが又々當地各樓主は本日有明樓に總集會を開き曩きに各委員が決議したる檢番設置の内容に付き評議決定を與ふるとの事なるが今聞く處に依ると本日の集會は樓主側にも餘程意見ある模樣にて席上定めて紛議に紛議を重ね結局二派若くは三派に分離するならんと云ふ、元より六十軒の大小料理店が一組となりて檢番を設立するは到底望む物議を引き起す基因となるは言ふ迄もなく組合中には料理店とは言へ毫も資金なく唯賣春婦を引き充てに辛くも今日の營業を繼續しある者さへあるに是等と當地第一流の花月、掬翠、井門、清華の如きが相合するは是れ又不可能の事なりされば結局當地花柳界にも檢番は二ヶ所或は三ヶ所となりて其一ヶ所は無論前記第一等料理店の四軒にも一檢番を設置するならんと云ふ何れ本日の結果を聞いて粹樣方の御參考迄に報導せん

●花は紅柳は綠 何うで一旦泥水稼業に身を沈めてからはマヽヨ此所許りが都ぢやなし何所も同じ旅の空ソウ言へば近頃耳にした花助姐さんの消息虎が伏すてふ朝鮮は平壤の梅の家とかに稼業をして居ると か の時思へば姐さんと別れてから足掛三年隨分と姐さんにもお世話になつた事とは組……

それからと云ふものは……旦那に……

(判読困難)

々騙され親方樣へ迷惑を掛けたのが自棄の元服な酒さへ好きになり疑掛にあはる茶碗酒醉ふた機嫌の氣はまぎれども紛れ兼ねるは此家への借金親方樣の御慈悲に甘へて何うか棒引にしてとは人間の皮を冠りて口を開けた仕儀ではなし又親方樣も大枚一千圓といふ大金をムザ〳〵棒引にする氣遣はなしそれかといつて此の不景氣の土地に目的なしに稼業は出來ず偶に景氣の好いとしても借金の方へ差引かるればいつもの不景氣と同じ譯……イヽサ惡いことゝは知つては居れど身の振り方には替へられずまゝよ彼方の空なる平壤の姐さんの所へ高飛びし身の越方行末を相談したなら何とか善い方法

●新町のお職調べ 當地新町も例年しき習にも四十二年のお職初めは愈々去月三十一日を以て各樓共發表致され候就而は四方粹樣方の御參考迄に一寸お名丈け御報らせ可申候間何卒妻君には秘密になし置き被下度候突當り井門樓には月枝と浪枝の大暗鬪大競爭にて各新聞紙にも度々掲載致され居候得共結句月枝君の大勝利にて浪枝君次席と相成候然し此競爭は今月末が又見物に有之候▲隣りの月下樓はお職が富勇君にて次席は例の小多福ではお米吉と申す曰く因縁附きの美人に有之候▲松榮樓は勇菊君次が露君に候▲高島屋は安子君に次席が千代菊君に千代菊君チヨツト競爭有之候も千代……鶴子君とて可愛い奴に有之候▲南山樓は朝菊君一歩を讓り中候▲大桝屋は竹葉君に次が定子君とて少々年増の姐さんに候▲香春樓は言はずも知れた江戸兒辨の高樣老姐小金君にて次が東君に候▲清月樓は傘助君の愛嬌者と桃太郎君に候同樓の鹿子君は美人の評ありたるもヤツパリ腕無しか腕無しにしては余り駄洒落が過ぎると惡口を言つた人も有之候▲第一樓本店は若蝶君に花町君同支店は右近君に紫君▲京城樓は例の茶羅子君おりしも長らくの病氣にて終に這度は京子君が佐々木高綱を氣取り喜久子君が掘原景季とかにて何だか宇治川の戰鬪の樣に候聞けば同樓には聊か暗鬪ある由にて今月末にはチヨツト色めき申べく候▲山逆樓は……十九君を八……何れも中老姐……何時迄も大立者でお目出度事に候先は一寸内々にて御報迄(雀の兒)

(判読困難)

も付くものをと思ひ詰めては矢も楯もならず或る夜姿をしそれとなく朋輩衆や知り合ひのものに暇を告げ其の日の夕方風呂へ行くと僞りて途中より車を雇ひ前橋停車場に付けさせ其の夜の中に東京に出でやれ一安心と胸撫で下し上野停車場側の群玉舍といふ宿屋に着いたのか彼れ是れ夜の十一時頃時節は去年の十月末つ方併し前橋と東京とは道程は三十里汽車では僅か四時間何うしても安心は出來ずと宿の姐さんに賴んで車を傭つて貰ひ直ぐさま新橋に着き靜岡行の時間を待ち居る中惡い事は出來ぬもの一人の警官が突如に姿しの袂を引き捕へ「お前は上州前橋坂本樓の抱へ娼妓松吉といふものではないか」と訊ねられし時の心の驚き、流行は女心の纖弱さ「ハイ………」と答へたが最後其場より芝口警察署へと連れ行かれ嚴めしき署長樣とやらの前にて身の不埒を責められツマリ明日は坂本樓の主人が出京する程に溫柔しく歸るが至當なるべきも今晩の所は留置するとな申し渡され暫くて薄暗き部屋にぞ押し詰められにき(つゞき)

●山本警部の葬儀 職に殉したる故警視廳警部山本雅夫氏の葬儀は昨日午後一時より南山本願寺に於て執行されたる當日は若林警視總監以下多數の日韓警察官、其他官民有志者多數の會葬者ありて盛儀を極めたり

●精神病者の護送 西部新村里裕殖編くた)と云つるは一昨日午後四時頃泥峴筋を彷徨し居たるを本町派出所の巡査が不審なる奴と引致して取調べたる處全く精神病者なる事判明せしかば其親族東部孝悌橋𦾔德宰の宅へ護送す

●ヨボのヘベレケ 南部會洞李德英(三十)と云へるは一昨日午後二時頃自宅に於て泥醉し親父に喰つて掛かり亂暴を働き居るを巡査出張して南部署に引致説諭の上放還

●公判だより 來る八日法務院に於ける公判は刑事(午前十時)羅川鐵一外一人竊盜事件なり

●七代目 芳村伊三郎(七)

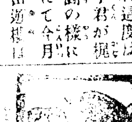
▲藝術修業の困難

▲釣天井の大當 音羽屋が大神宮を荒した件は松助等の身代りで落着を告げたそれから其歳の秋是等の一座で宇都宮釣天井を出して音羽屋が與四郎を勤めたが世間では音羽屋が宇都宮で辛入りをした事實を證ると云ふ評判で連日大入を占めた此自分は杵次郎は矢張り三枚目を彈いて二枚目が杵屋巳太郎、立三味線が同六三郎であつた。

▲二枚目に昇進 其翌年杵次郎十九歲の時二枚目に昇進して杵屋六之助と改名した、當時彌十太郎が昇進して六四郎となり、二代目六翁の養子六三郎と此の三人は兄弟同樣にせよと六翁からの命令

▲袴の間違い 彼れは音羽屋には永く交合つたそうだが或時太閤記と辨天小僧とを出して音羽屋が辨天小僧を勤めたが、此菊五郎と云ふ人は中々巧者な人で歌でも何を唄へと自身で指圖した位ゐだが、彼れは辨天小僧の幕開には必ず越後獅子を憚き、辨天小僧の出になつてからは繁娘の朱子袴のひだ取るよりもと唄ひ出すのが常である然るに此時の立三味線、杵屋貞吉が之を知らずして矢張り越後獅子を憚いたものだから、音羽屋が朱子袴〳〵と聲を掛けた其れを番頭が聽いて衣裝方の處へ行て朱子の袴を持ち來り後見に渡す後見は之を携へて辨天小僧の音羽屋に渡すと音羽屋大に怒り舞臺で后見の頭を撲り飛ばし飛んだ滑稽を演じたが幸ひ、はやしの方で其れと悟り三味線を彈替へたので先づ〳〵無事に濟んで幕の締つてからは大笑いとなつたそうだ

平民文庫



▲心痛生憎よ御配慮の段誠に有難く感謝致し升私は此程義州方面へ旅行中にて漸く一昨四日歸京致しましたから御安心く下さい(魚友痴史)▲督促先生君に申上ます今回西韓地方旅行中面白い都合の材料を深山に得て參りましたから是より本紙の餘白を借りて娛披露致す積りですドウゾ御愛讀願ます(同人)▲曾洞派出所前のうどんやでは每夜深更になると非常な大騷動を演ずる其騷たるや泣くが如く咽ぶが如く怨むが如く訴ふるが如く咽くが如く吹ゆるが如くである全体何うした譯かと近所の人に聞いて見たが笑つて答へぬ更に押返して聞いたら「だから獨身者は此の近所から皆他へ移轉しましたよ」と云たが何の事やら僕には判らぬ(不

▲寄席 本日の替り「開化の魁」 今紫(演)……(藝)……(だ)……(よ)……(り)

▲壽座 全盛一代記にして配役左の如し 中田小八郎(原)主人金兵衛(西)女主たさわ(大吹)陸軍少將松崎明(福本)室積伍長(小泉)書生山田(秋月)三宅中尉(荒川)久保田軍曹(三宅)五十嵐大隊長(清水)松崎繁子(すみれ)今紫太夫(今紫)

▲永樂亭 三遊亭遊七一行の落語、義太夫淸談等にて頗る好評なり

●西小門外巡査殺しの犯人の手掛りはありませんか案ずるに下足を切りは當まいか一層當局者の奮勵を望む(花村生)▲此の狹い京城に檢番を二つも三つも置くと云ふのは後門狼を入るゝの類だ(好色家)▲海に遊ぶは氣宇濶大、山に登れは俗念消盡し去りて自ら其品性を崇高ならしむ(健脚子)▲京城新報が意外の邊にまで好評を博し居るは實に意外である諸ふ自重自愛ます〳〵意外の發展あらんことを(意想外史)▲僕は東西西洋の歷史を通して其の内に顯はれたる人物中最も項羽を好む其憐花の如く壯魂の如き悲壯眞談以多く彼れを讀ひたるものなり故に僕は之れを擇らす其帝業を創むる能はざりしは偶々以て彼れか正直なりしを證據立つるものにあらずや(大愚)▲松葉のそばも不味くはないが又決して上味ひとは申されませんね(ざる黨)▲遊通者名鑑と名付けたるものを持つて居ますが差し出しませしようか尤も載せると載せないは貴社の御勝手さして意外の事實がありますよ(御用聞小僧)▲サア頂いて宜いか惡いか……二三日考へさして下さい(係)

●天氣豫報(自五日午後六時至六日午後六時) 北西の風晴

四日 (最高溫度)(最低溫度) (華氏) 二九、七 一七、一

五日午前六時各地氣象概況 高氣壓は北西方面に顯著にして滿韓の氣壓

配置は概ね固定せるが如く西海岸は北の疾風吹けども其他は穩靜を告げ晴朗なれ共大邱は微雪降れり

●義捐金募集

今回警視廳巡査山本雅夫氏が兇賊の爲め非業の死を遂げられたるは職務の爲めとは言ひながら誠に同情に堪へざるものあれば吾々同業者は茲に義捐金を募集し氏の遺族に送ることゝしたれば同情の諸君は左記何れの社にても差支なきを以て續々申込みありたし

一義捐金申込は一口十錢以上とす

一締切は本月十五日限り

一領收證の替りに新聞に揭載す

一義捐金は警視廳の手を經て遺族に贈與す

二月二日

京城日報社
大韓日報社
朝鮮日々新聞社
京城新報社

故山本警部弔慰金義捐者

一金五十錢也 旭町一丁目卅八番戸鮨屋 網口駒三郎

一金二十錢也 同 網口ナラエ

一金二十五圓九十錢也 永樂亭主 淺井 三遊亭 遊七一行

一金五十錢也 森 字一

計二十七圓十錢

通計金參拾壹圓七拾錢也

▲無料紹介欄▼

人事部

求事業家 確實なる事業にて年十百圓以上出資し得る人を求む 金五 旭町一の六十 京仁商會（一六三）

求妻 知人年三十五歳品行方正身体健全月收百圓餘三十前後にして普通教育ある婦人を望む 旭町一の六十 川村（一六四）

韓語速成教授 本町六丁目六五韓語速成講習所（一六五）

廿十九高等小學校及補習校學卒業如何なる仕事にても不苦成だけ給料の多きを望む 姓名在社（一六七）

物件部

貸家 龍山停車場前十五間道路筋新築表口三間奥行四間瓦葺二階家疊建具一切付用水の便あり 龍山停車場前 電話四九島田（一四五）

貸間 二階八疊及び十疊何れも床付き紳士向き食事付き又わなし 龍山停車場前 電話四九島田（一四六）

貸家 龍山漢江通り三丁目十五坪… 京城明治町一丁目 ゑり德（一五〇）

商店 本町…間口三間店土間五坪六疊一室裏空地十五坪家賃二十三圓 永樂町二 赤門前 岡（一五六）

土地 南山町二丁目南山麓眺望絶佳約三百坪御貸又は賣却何れ共御相談に應す 永樂町二丁目 岡内（一五七）

鐵道用（トランシット）一脚附一臺 一十二砂線便レール四十七チャイン 右賣却したし御入用の方は下名へ 南山町一 澤田館 小谷（一五八）

瓦葺二階建新築家屋上六疊、三疊下三疊、六疊敷瓦突付外押入れ所臺所あり疊建具一切完備床及玄關付紳士に向適當なり 南山町一丁目 電話八三三 （一五九）

貸間 二階六疊二階床間押入付 至急貸したし 旭町一の六十 京仁商會（一六一）

雜貨 見切品見世仕舞品及諸道具其他不用品何でも買入ます 旭町一丁目 旭町競賣所（一六二）

賣家 大和町三丁目遊廓裏旭川端地坪約五十坪瓦葺平家造作付四軒建長家井戸付家賃即致度 赤門 岡（一六八）

本町五 月の家（一六〇） 電話至急買受けたし

廣告

鴨綠江特種木材九州セメント取次販賣
末口一尺八寸以上長さ五間迄其他各種材
建築業 京城旭町三丁目 **柴田芝六** 電話五六八番

待合 春日
京城本町一丁目北側 支那領事館前
洋室には蓄音機、バイオリン、尺八、笛、月琴、琴、三味線等の備付あり御客様方の娛樂に供給す

▲**清潔の下宿**▼
客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十番戸横小路（元花屋跡）
かめ屋

▲**懇切の下宿**▼

移轉謹告
謹啓寒冷の候各位益々御清榮奉敬賀候陳者弊店今回都合に依り左記の所に移轉し從來兼業の雜貨部を廢し綿布類一式卸賣に專心全力を盡し大阪支店に輸出部を設置し織物稅は之れを省き非常に廉價を以て廣く各位の御高庇に添はんことを期し候希くは弊店新進の勉勵御試買め多少に不拘御用命の程伏而奉願上候 敬白
追て遠方書狀にて御注文の際大凡見積り金を送付の方は荷物送付の運賃は弊店負擔可致に付精々御注文奉願上候
京城旭町一丁目百十八番地
（日の出湯より七軒目上る）
大伴京城支店

▲**轉宅荷物運搬**（京龍間建築土木材料其他諸貨物の運搬及び人夫請負）
弊店儀今般右の營業を開始仕候に付ては貨物の多少又は土地の遠近に拘はらず御報知次第直ちに店員を派出して御用命に應じ可申尚は弊店は責任を重んじ万一御委託物に對し店員の不注意より損害を加へ候節は弊店に於て其**賠償の責に任**じ決して御損失は相掛申間敷候間續々御用被仰付度此段謹告候也
京城南大門通り二丁目
店主 有田豐太郎
有田運送店

●**土耳古金口莨直輸入**
GDS
ジーデーシエリスヱンサンス
·GDSIERLIS & SONS·
SAMOS (TURKEY)
ジーデーシエリス會社
出張所 明治町二丁目
ヱムジーシエリス
●**韓國特約販賣店**●
京城黄金町 **井出商店** 電話一九〇番
釜山本町 **内山米太郎** 電話一〇七番
平壤大和町 **佐藤商店**

今般左記の所に移轉す
移轉御披露
永樂町貳丁目（赤門前）
洋服商 東京塚原支店 **原雄吉**

純良
牛乳
元祖 京城大和町一丁目
平山牧場
電話百三十三番

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 八拾萬圓
京城南大門通
株式會社 **十八銀行** 京城支店（電話四二〇）
本店 長崎市築町
支店出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、群山、羅州
韓國 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹錢四厘）
長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）

青々園
風味超凡 實質の三者を兼備す
正銘宇治 茶京都の 茶器
故に尤も 進物用に 適當なり

京城本町四丁目
茶及茶器商 **青々園茶舖**

京城
株式會社 **第五十八銀行**
電話番號五十八
資本金三百萬圓
爲替取先組
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、岸和田、御影、兵庫、神戸、住吉、平野、吉
東海道 東京、横濱、千葉、大磯、甲府、靜岡、沼津、濱松、豐橋、名古屋、半田、熱田、龜崎、四日市、津、山田、桑名、松阪
東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、多治見、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、仙台、青森、秋田、七浦、能代
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、高岡、富山、伏木、新湊
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、濱田、久手、大田、宅野、龍野、明石、赤穗、姫路、西大寺、福山
山陽道 敷、笠岡、庭瀬、高梁、玉島、西江原、倉敷、廣島、岩國、中宮市、三田尻、德山、小郡、山口、柳井本津、平生、長府、小月、下關、萩
南海道 和歌山、尾の鷲、德島、撫養、徳島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、郡中、西條、松山、三津濱、高知
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、長須、大分、湊（島原）、佐世保、唐津、伊萬里、牛津、呼子、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島
北海道 函館、小樽、札幌
臺灣 臺北、臺南
韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣
銀行一般の業務精々便利に取扱可申候

●**土耳古煙草直輸入大販賣**●
本社ハトルコ最大賣製造會社ニシテ其製品ハ原料精選其風味ハ良好無比ナレバ夙ニ世界各國ニ最多ノ輸出チナシ好評チ以テ迎ヘラレツ、アリ卸小賣トモ廉價ニ販賣仕候
京城本町四丁目角 デーエス、パチリス會社出張所
仁川港本町通 仁川代理店 **穎原兄弟商會**

免許
●**移轉廣告**
催眠施術
無催眠治療
（注意）無催眠治療を用ひず催眠術を施さず僅か一回或は數回の治療克く數年の固疾を全治す
無催眠治療に適する諸症左の如し
子宮病 ヒステリー 眩暈 胃病 月經不順
氣痔 便秘 齒痛
京城若草町一丁目八十七番戶ノ七
（入口）（三軒目門內櫻井町櫻井湯西ヘ入ル第二養生醫院隣）
弘濟療院

大上商店
特約販賣 自製
漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目
（電話二五一番）
和洋酒、◯精酎、穀物麵類、銘茶、鑵詰、乾物荒物、食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣
尚御望に依り商品切手調進仕候

一ヶ月八圓の下宿
黄金町
統明館
（明治町突當り）

東京火災運送保險株式會社
明治廿年創立資本金一千萬圓
日本國火災保險業の嚆矢
代辦店 山口呉服店
事務所 京城本町二の三電話九番

諸官衙用御品調達
營業科目
紙類書籍 印刷附屬品 印刷インキ 防腐デシン 穀物食鹽 織物染料 各學校用品調達
並に
委托販賣
東京 アライアンス商會代理店
横濱 ビーヱムフンドライフ商會代理店
京 千代田生命保險相互會社代理店
東京 博文館發行書籍特約店
東京 金港堂發行書籍特約店
京 鹽合資會社食鹽特約店
山 釜
本社 京城明治町二丁目 電話二三〇番
出張所 東京 京橋區南鍋町二丁目 電話新橋三九六二
藤田合名會社

●いざこざ問はん●
我思ふ母國新聞（三府四十三縣にて發行する）の總てを配達する取次店は有りや無しやと御尋ねの方あらは
唯**大成社**（本店京城南大門通 支店龍山本町参丁目）あるのみと御答可被下候
●我探す店ありや●

藥物賣藥

統監府御用
諸官衙人力車
荷物荷造及運搬
營業 京城曙町（電話七三番）
本店 同本町三丁目（電話四〇番）
伊藤組

三一館
焦心罹志多年爲斯道錯於觀與旨恍然有得者匪髮措臆啾啾茫洋辭命涸騰素面輕塩也
易斷觀相敎授 京城本町五丁目
通信判斷一件一圓特別二圓

●●**寒氣と牛乳**
牛乳と消毒
韓國畜産株式會社
南大門外（電話八八番）

純洋種 牛乳 良
取次 電話三五七 京城南大門 井 牧場

日本郵船株式會社
瀛船仁川出帆廣告
仁川海岸通 電話三十番
貨物及船客取扱店
郡回漕會
電話三九番
●釜山長崎門司神戸行 山東丸 二月十二日後三時出
●大連行 高砂丸 二月十六日後一時出
●大連、大沽行 山東丸 三月二 日前五時出
●大連、大沽行 酒田丸 三月四 日正午出
●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行 上川丸 二月二十四日
御注意 御乘船ノ際ハ艀賃波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船艀漕ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金四十錢▲三ヶ月前金壹圓拾五錢▲六ヶ月前金貳圓貳拾錢▲一ヶ年前金四圓
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行金十五錢▲廣告五號活字十九字詰一行金十錢
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木久馬太郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話六三番